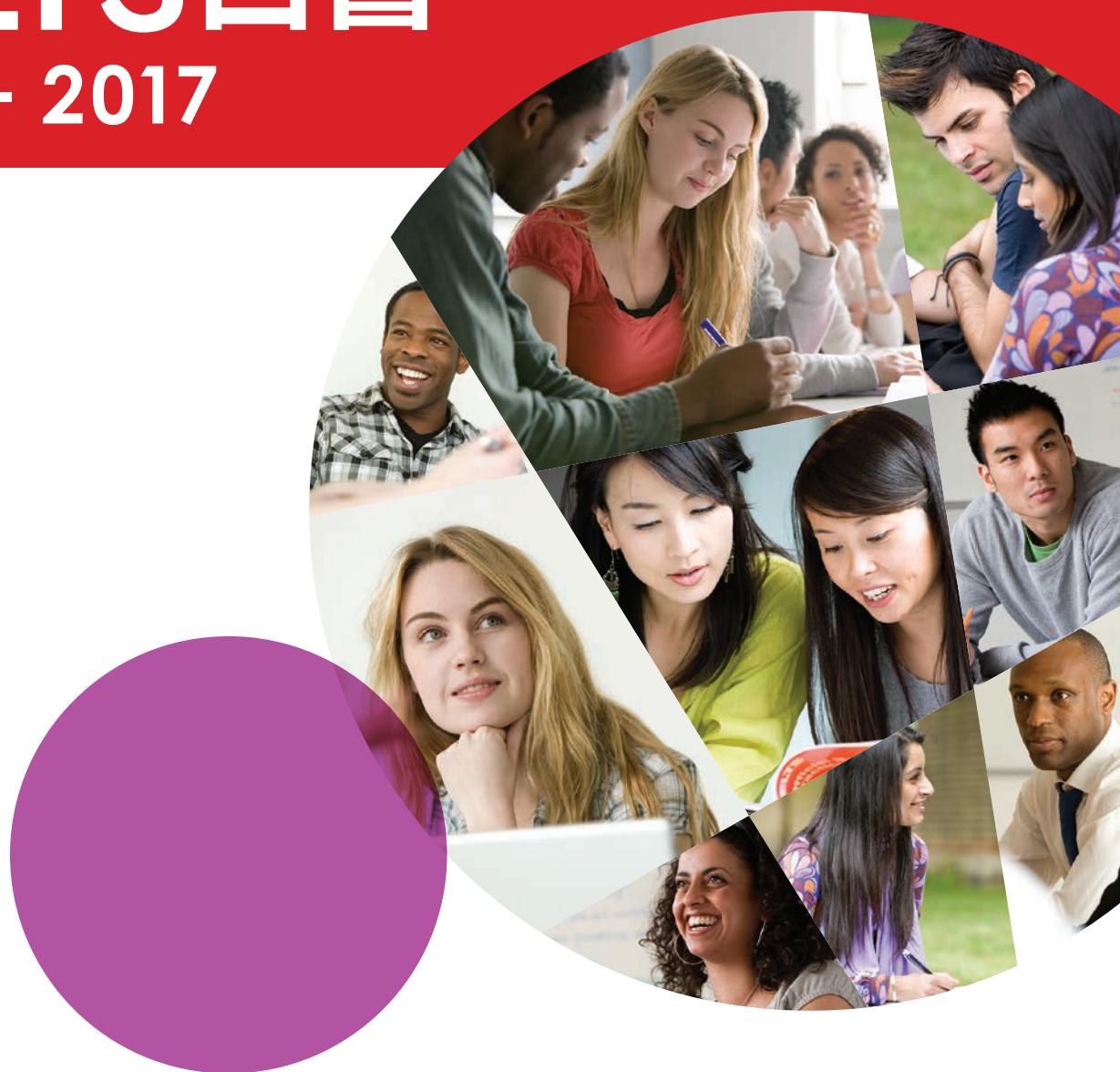


アイエルツ

# IELTS白書

## 2016 - 2017



トビタテ!留学JAPANよりメッセージ/IELTSとは …… P2.P3  
 受験/採用状況 …… P4.P5  
 申込方法 …… P6  
 IELTSの特徴 …… P7  
 団体受験 …… P8.P9  
 IELTS for UKVI …… P10  
 IELTS対策 …… P11

### IELTS導入機関

青山学院大学 …… P8  
 北海道大学 …… P12  
 中央大学 …… P13  
 山口大学 …… P14  
 熊本大学 …… P15



Message from

# 文部科学省 トビタテ! 留学 JAPAN

## 留学は自分や日本を客観視する機会になる

～留学前には多様な英語にも触れていただきたい～

日本の高校生や大学生の留学を促進する「トビタテ! 留学JAPAN」の中心的な取り組みが、2014年度に開始した「官民協働海外留学支援制度～トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム～」\*です。政府は2020年までに高校生の海外留学6万人、大学生の海外留学12万人へと、現状からの倍増を目指していますが、このプログラムでは、民間からの寄附200億円を目標とし、約1万人を送り出す計画です。派遣留学生には、将来のグローバルリーダーを目指し、留学中に日本の良さを発信するアンバサダーとなり、帰国後はエヴァンジェリスト(伝道師)として留学の機運をつくる活動に取り組むことを期待しています。

\* ■大学生一般向けの大学全国コース/大学オープンコース  
「理系・複合・融合系人材コース」  
「新興国コース」  
「世界トップレベル大学等コース」  
「多様性人材コース」

■日本の各地域ごとに募集する地域人材コース

■高校生コース



私は学生たちに、「20代が終わるまでに3回留学しよう」と呼び掛けています。変化の激しい時代にあっては、自分がどのような能力を身に付け、視野を持ち、人脈を広げるのが重要になります。1度だけ、1カ国を見ただけで世界が分かったとは言えません。数カ国を見て初めて分かることがあるものです。まずは高校生というなるべく早い時期に一度留学して広い世界を知り、そして大学生、社会人と段階を経て、いろいろな国へ留学し、移り変わる世界の動きを肌で感じる必要があるのです。

世界に出ると、英語は一つではなく、多様であることに気付くでしょう。海外の大学等に留学するために、英語力証明のIELTSを受験することもあるかと思います。IELTSの試験問題には、世界各国の英語が使われていると聞いていますので、留学前に多様な英語に触れることで、英語に対する心構えも出来ていくのではないのでしょうか。

私自身、海外で多くの国籍の人と切磋琢磨する中で、楽しい経験も、苦しい経験もしました。そこで初めて、自分のアイデンティティや日本を客観的に理解することができました。若いときに、海外で異なる環境、多様な価値に触れ、他者と協力した経験や葛藤は今の私の礎であり財産となっています。「日本代表プログラム」の派遣留学生たちは、さまざまな人や文化に触れながらアウェイ体験をして、現地での実践を伴う活動をしています。ぜひ、世界に飛び立ち、視野を広げ、視座を高める“タフ”な経験を積んでください。

文部科学省  
官民協働海外留学創出プロジェクト ディレクター

船橋 力さん



文部科学省は、意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す気運を醸成することを目的として、2013年10月より留学促進キャンペーン「トビタテ! 留学JAPAN」を開始しました。政府だけでなく、社会総掛かりで取り組むことにより大きな効果が得られるものと考え、各分野で活躍されている方々や民間企業からの御支援や御寄附などにより、官民協働で「グローバル人材育成コミュニティ」を形成し、将来世界で活躍できるグローバル人材を育成します。

公益財団法人 日本英語検定協会は「トビタテ! 留学JAPAN」の主旨に賛同し、支援団体としてその活動を応援しています。

## IELTSとは?

IELTSは留学・移住・就業のために世界で270万人の方々が受験し、世界140カ国、9,000機関で認定されている4技能英語試験のグローバルリーダーです。

## IELTSの概要

International English Language Testing Systemの略で、海外留学や研修のために英語力を証明する際、およびアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなどへの海外移住申請をする際に非常に適したテストです。4技能を筆記試験と面接試験でバランスよく測定します。ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP:IELTSオーストラリアの3団体が共同運営されているため、中立的なテスト提供、徹底的な管理体制、試験問題の精査機能が保たれています。日本国内では、公益財団法人 日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが2010年4月より共同で運営を開始しました。

## IELTSを採用している世界のトップ大学

世界の名だたる高等教育機関では、下表のようなIELTSのスコアを採用しています。

ランク	国	学校	IELTSスコア
1	United Kingdom	University of Oxford	7.0 - 7.5
2	United States	California Institute of Technology	7.0
4	United Kingdom	University of Cambridge	6.5
5	United States	Massachusetts Institute of Technology	6.0 - 7.5
6	United States	Harvard University	7.0 - 7.5
7	United States	Princeton University	7.0
8	United Kingdom	Imperial College London	6.0 - 7.0
9	Switzerland	ETH Zurich – Swiss Federal Institute of Technology Zurich	6.5
10	United States	University of California, Berkeley	7.0
11	United States	University of Chicago	7.0
12	United States	Yale University	7.0
13	United States	University of Pennsylvania	6.5 - 7.5
14	United States	University of California, Los Angeles	7.0
15	United Kingdom	University College London	6.5
16	United States	Columbia University	7.0 - 8.5
17	United States	Johns Hopkins University	7.0
18	United States	Duke University	7.0 - 7.5
19	United States	Cornell University	7.0
20	United States	Northwestern University	7.0 - 7.5
21	United States	University of Michigan	6.0 - 7.0
22	Canada	University of Toronto	6.5 - 7.0
23	United States	Carnegie Mellon University	6.0 - 7.5
24	Singapore	National University of Singapore	6.0 - 6.5
25	United Kingdom	London School of Economics and Political Science	7.0 - 7.5
25	United States	University of Washington	7.0
27	United Kingdom	University of Edinburgh	6.5
28	Sweden	Karolinska Institute	6.5
30	Switzerland	École Polytechnique Fédérale de Lausanne	6.5 - 7.0
30	Germany	Ludwig-Maximilians Universität München	6.0

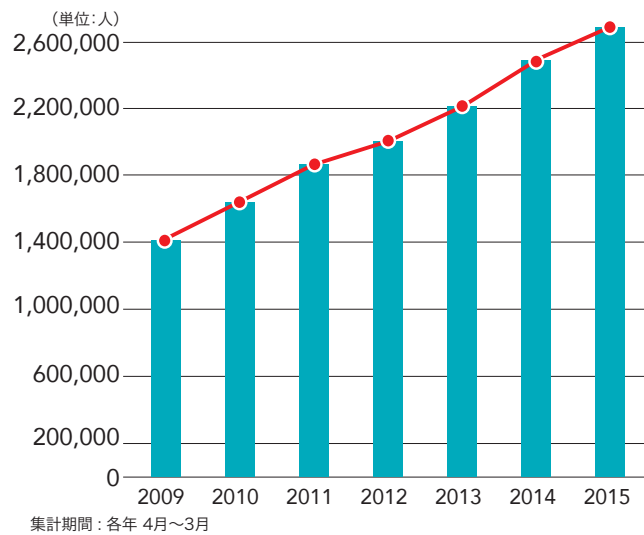
\*表は学部・院のスコアの目安を記載しております。スコア及び認定状況は学部やコースによって変わる場合があります。詳細は学校に直接お問い合わせください。  
参考: The Times Higher Education World University Ranking 2016-2017 <https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings>  
Take IELTS with British Council <http://takeielts.britishcouncil.org/choose-ielts/who-accepts-ielts>

IELTSの認定機関の検索は

## 世界でのIELTS受験状況

### 年間の総受験者数270万人突破

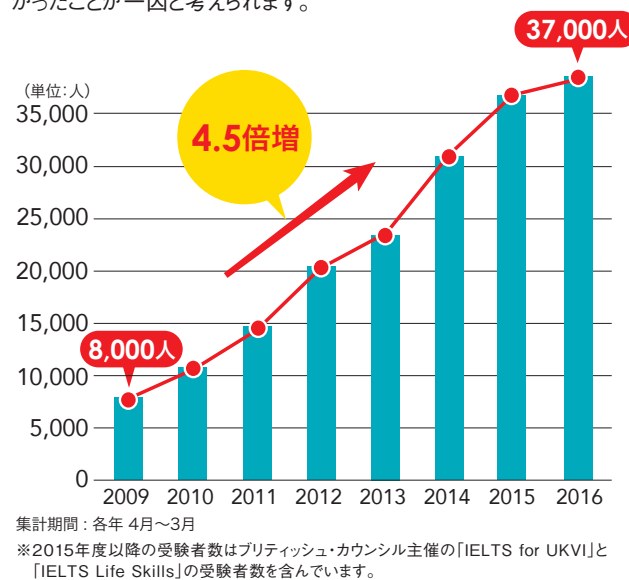
世界140以上の国でIELTSは実施されており、英語能力を測定するテストのグローバルリーダーに位置しています。世界的な留学生の増加により、年間の総受験者数は延べ270万人(下図)を超えています。受験者の数は年々増えており、特に2007年以降はBRICs諸国を中心に受験者数の急激な伸びが見られます。



## 日本国内でのIELTS受験状況

### 8年間で受験者数が約4.5倍に

日本国内では2010年4月より、日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが共同運営という形で試験の運営を開始。地方会場の新設や積極的な広報活動により日本の受験者数は年々増え、8年間で約4.5倍になりました(下図)。これは、短期間でテストの認知度が上がったことに加え、紙と鉛筆を使った筆記試験であることやface to faceの面接試験が日本の受験者に受け入れられやすかったことが一因と考えられます。



## 日本の大学入試におけるIELTSの活用

グローバル人材の輩出に力を注ぐ大学が増えており、学習環境の整備や留学制度の充実に加え、入試改革が大きく進んでいます。入試改革においてはコミュニケーション力の評価が大きな課題であり、自校で実施することが難しい「書く力」「話す力」の測定を確実に実行できる民間の4技能試験を活用する動きが活性化しています。

世界標準であるIELTSは、文部科学省「スーパーグローバル大学創世支援」「経済社会をけん引するグローバル人材育成推進事業」に採択されたほぼ全ての大学の入試要件の一部に採用されており、これまで留学資格として考えられていたIELTSが新たなフィールドで注目を集めています。

### 入試要件の一部としてIELTSを採用している「スーパーグローバル大学創成支援」「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」採択大学 (順不同)

北海道大学	東京外国語大学	法政大学	新潟大学
東北大学	東京芸術大学	明治大学	福井大学
筑波大学	長岡技術科学大学	立教大学	神戸大学
東京大学	金沢大学	創価大学	山口大学
東京医科歯科大学	豊橋技術科学大学	国際大学	長崎大学
東京工業大学	奈良先端科学技術大学院大学	立命館大学	愛知県立大学
名古屋大学	岡山大学	関西学院大学	神田外語大学
京都大学	熊本大学	立命館アジア太平洋大学	杏林大学
大阪大学	国際教養大学	お茶の水女子大学	昭和女子大学
広島大学	会津大学	中央大学	武蔵野美術大学
九州大学	国際基督教大学	同志社大学	愛知大学
慶應義塾大学	芝浦工業大学	埼玉大学	京都産業大学
早稲田大学	上智大学	一橋大学	
千葉大学	東洋大学	東京海洋大学	

※一部に留学生入試を含む

## 資格・検定試験とCEFRとの対照表 (2017年3月現在)

CEFR	英検	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT
C2		8.5-9.0			
C1	1級 (2630-3400)	7.0-8.0	400	800	95-120
B2	準1級 (2304-3000)	5.5-6.5	334-399	600-795	72-94
B1	2級 (1980-2600)	4.0-5.0	226-333	420-595	42-71
A2	準2級 (1728-2400)	3.0	150-225	235-415	
A1	3級~5級 (419-2200)	2.0			

「英語4技能試験情報サイト」より一部抜粋 [http://4skills.eiken.or.jp/qualification/comparison\\_cefr.html](http://4skills.eiken.or.jp/qualification/comparison_cefr.html)  
※CEFRとは、Common European Framework of Reference for Languages(ヨーロッパ言語共通参照枠)の略。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格で6つのレベルが設定されている。

入試方式	方式の説明	2017年度入試導入事例
試験免除	設定以上のスコア取得で英語(外国語)科目を免除とする	早稲田大学文化構想学部・文学部(一般入試)、青山学院大学(一般入試) 立命館大学(一般入試)、明治大学経営学部(一般入試)、立教大学(一般入試)、 法政大学(一般入試)、中央大学(一般入試)
出願資格	設定以上のスコア取得を出願の条件とする	京都大学(特色入試)
みなし配点	設定以上のスコア取得で英語(外国語)科目を点数換算する(満点も含む)	近畿大学国際学部(推薦入試)、神田外語大学(一般入試)、東洋大学(一般入試)、専修大学(一般入試)、 愛知大学(一般入試)、鹿児島大学(一般入試)、長崎大学多文化社会学部(一般入試)、 南山大学(一般入試)、関西大学外国語学部(一般入試)、龍谷大学(一般入試)
点数加点	設定以上のスコア取得で英語(外国語)科目に加点する	広島大学(AO入試)、高知大学(AO入試)、九州工業大学(一般入試、推薦入試) 金沢星稜大学国際文化学科(一般入試、センター利用入試、推薦入試)、山口大学(一般入試)
判定材料	設定以上のスコア取得で判定を優遇する	東京大学(推薦入試)、大阪大学(世界適塾入試)、東京芸術大学(一般入試)、 一橋大学(推薦入試)

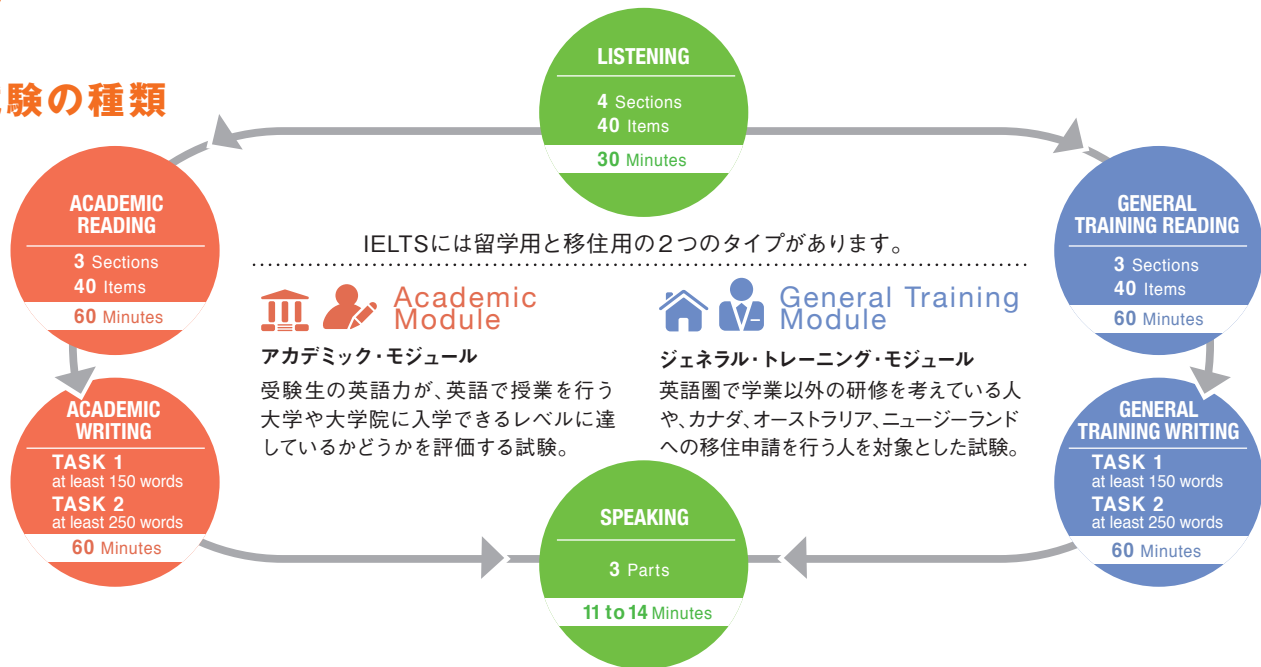
※詳細は、大学に直接お問い合わせください。

## 英語教員採用試験におけるIELTSの活用例 (都道府県教育委員会のウェブサイトより)

小学校5年生からの英語教科導入や中学校における「英語による英語の授業」など、小中高の教育現場でもグローバル化が着実に進んでおり、公立学校の英語教員採用試験でIELTSを活用する都道府県が増えています。

都道府県	基準スコア	活用事例
東京都教育委員会	7.0以上	英語実技試験の免除
大阪府、兵庫県教育委員会	6.0以上	一般選考に加点
広島県教育委員会	6.5以上	小学校は6.5以上で20点加点。中・高は6.5以上で5点、7.0以上で20点加点。
徳島県教育委員会	6.0以上	第一次審査の総合点に加点

試験の種類



IELTSには留学用と移住用の2つのタイプがあります。



**アカデミック・モジュール**  
受験生の英語力が、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価する試験。



**ジェネラル・トレーニング・モジュール**  
英語圏で学業以外の研修を考えている人や、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドへの移住申請を行う人を対象とした試験。

申込方法: インターネット

お申し込みの前に受験すべきテストのモジュール(アカデミックまたはジェネラル・トレーニング)を出願先・提出先に確認し、テストの日程と会場を選んでください。

右記のURLにアクセスし、お申し込みを行ってください。

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

お申し込み締切日

試験日5週間前の金曜日 17:00

※会場は定員に限りがございますので、締切日前に定員に達した場合は、お申し込みを締め切らせていただく場合がございます。

レイト・レジストレーション

試験日2週間前の月曜日 12:00

通常の5週間前の締切日を経過してもお申し込みができる「レイト・レジストレーション」を実施しています。

お申し込みの際の注意点

- IELTSのお申し込みの際には試験当日まで有効期限内のパスポートが必要です。他の身分証明書(免許証など)では受験できませんのでご注意ください。
- 「IELTS for UKVI」と「IELTS Life Skills」はブリティッシュ・カウンシルが主催する試験です。詳細はP.10をご確認ください。

受験料

1人1回あたり 25,380円(税込)

※2017年4月現在。受験料は変更になる場合があります。

2017年度公開会場

札幌、仙台、埼玉、東京、横浜、松本、金沢、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、福岡

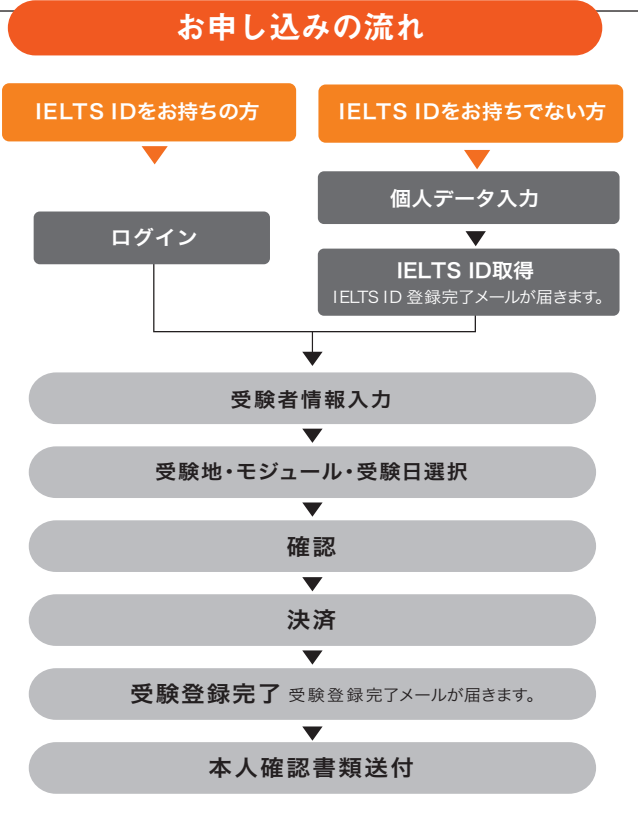
最新情報はIELTSウェブサイトにてご確認ください。

受験料のお支払い

クレジットカード(JCB・MASTER・NICOS・VISA)の一括払い、コンビニ(ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・セイコーマート)・郵便局ATMのどちらかのお支払い方法を選択してください。

※一部郵便局ATMではご利用いただけない場合がございます。ご利用する郵便局へ直接お問い合わせください。

※コンビニ支払いを選択された場合、申込日を含む4日間以内にご入金がない場合、受験登録が自動的にキャンセルされます。



試験結果の表示方法  
バンドスコア

テスト結果は1.0から9.0まで0.5刻みのバンドスコアで表示されます。合格、不合格はありません。成績証明書(Test Report Form: TRF)にはリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの各セクションのバンドスコアと、総合評価としてオーバーオール・バンドスコアの計5種類のバンドスコアが表示されます。オンラインでお申し込みをされた方は筆記試験より起算して13日後の13時からIELTSマイページ上の「試験結果閲覧」メニューより成績をご確認いただけます。成績証明書の原本は受験者本人に対して1通のみ発行され、上記日程と同日に受験者宛に発送されます。

- Expert user** エキスパートユーザー  
十分に英語を駆使する能力を有している。適切、正確かつ流暢で、完全な理解力もある。
- Very good user** 非常に優秀なユーザー  
時折、非体系的な不正確さや不適切さがみられるものの、十分に英語を駆使する能力を有している。慣れない状況においては、誤解が生ずることもありえる。込み入った議論に、うまく対応できる。
- Good user** 優秀なユーザー  
時折、不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を駆使する能力を有している。複雑な言語も概して上手く扱っており、詳細な論理を理解している。
- Competent user** 有能なユーザー  
不正確さ、不適切さ、および誤解がいくらか見られるものの、概して効果的に英語を駆使する能力を有している。特に、慣れた状況においては、かなり複雑な言語を使いこなすことができる。
- Modest user** 中程度のユーザー  
部分的に英語を駆使する能力を有しており、大概の状況において全体的な意味をつかむことができる。ただし、多くの間違いを犯すことも予想される。自身の分野においては、基本的なコミュニケーションを行うことができる。
- Limited user** 限定的ユーザー  
慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言語は使用できない。
- Extremely limited user** 非常に限定的なユーザー  
非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションが頻繁に途絶える。
- Intermittent user** 一時的なユーザー  
確実なコミュニケーションを行うことは不可能。慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な情報を単語の羅列や短い定型句を用いて伝えることしかできない。英語による会話、および文章を理解するのに非常に苦勞する。
- Non-user** 非ユーザー  
いくつかの単語を羅列して用いることしかできず、基本的に英語を使用する能力を有していない。

オーバーオール・バンドスコアについて

オーバーオール・バンドスコアは、4技能(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)の単純平均をもとに0.5点刻みで決定されます。平均点が0.5点刻みではない場合、その数字に一番近いスコアに寄せられます。(0.25点刻みの場合は、0.5点刻みに切り上げられます)

	受験者A	受験者B	受験者C	受験者D	受験者E
Listening	6.0	6.5	6.5	6.5	6.5
Reading	6.0	6.0	6.5	6.5	6.5
Writing	6.0	6.0	6.0	6.5	6.5
Speaking	6.0	6.0	6.0	6.0	6.5
4技能平均	6.000	6.125	6.250	6.375	6.500
OVERALL	6.0		6.5		

参考: IELTS Official Website <https://ielts.org/>

国別スコア 上位40か国・地域の平均バンドスコア (Academic Module, 2015年)

Place of origin	L	R	W	S	OVERALL
Germany	7.7	7.5	6.6	7.3	7.3
Greece	7.3	7.1	6.2	6.6	6.9
Philippines	7.2	6.8	6.3	6.8	6.8
Canada	7.0	6.7	6.2	7.1	6.8
France	7.0	7.2	6.1	6.6	6.8
Spain	6.9	7.1	6.1	6.7	6.8
Malaysia	7.1	7.0	6.1	6.6	6.8
Brazil	6.7	6.9	6.0	6.7	6.7
Italy	6.7	7.2	5.9	6.5	6.6
Russian Federation	6.8	6.8	6.0	6.6	6.6
Mexico	6.7	6.8	5.8	6.5	6.5
Hong Kong	6.9	6.7	5.9	6.2	6.5
Nigeria	6.5	6.2	6.1	6.8	6.5
Ukraine	6.5	6.6	5.9	6.5	6.5
Sri Lanka	6.6	6.2	6.0	6.6	6.4
Indonesia	6.6	6.6	5.8	6.2	6.4
Egypt	6.6	6.3	5.9	6.4	6.4
Colombia	6.2	6.5	5.8	6.4	6.3
Islamic Republic of Iran	6.2	6.0	5.9	6.4	6.2
Pakistan	6.2	5.9	5.9	6.3	6.1

参考: IELTS Official Website <https://ielts.org/>

Place of origin	L	R	W	S	OVERALL
Taiwan	6.2	6.2	5.6	6.0	6.1
Bangladesh	6.1	5.9	5.7	6.1	6.0
Nepal	6.2	5.7	5.7	6.0	6.0
Thailand	6.2	6.0	5.5	5.9	6.0
Viet Nam	6.0	6.2	5.6	5.8	6.0
Turkey	6.0	6.0	5.5	6.0	6.0
Republic of Korea	6.2	6.2	5.4	5.7	5.9
Jordan	6.0	5.7	5.5	6.2	5.9
India	6.1	5.7	5.6	5.8	5.9
Kazakhstan	5.9	5.9	5.5	5.9	5.8
United States of America	5.8	5.5	5.4	6.3	5.8
Japan	5.9	6.1	5.3	5.6	5.8
China	5.9	6.1	5.3	5.4	5.7
Iraq	5.5	5.4	5.2	5.9	5.6
Uzbekistan	5.4	5.5	5.2	5.5	5.4
Kuwait	5.4	5.0	4.8	5.6	5.3
Oman	5.1	5.0	5.0	5.7	5.2
Qatar	5.2	4.9	4.7	5.6	5.2
Saudi Arabia	4.9	4.8	4.6	5.5	5.0
United Arab Emirates	4.7	4.7	4.5	5.3	4.9

試験別スコア 男女別の平均バンドスコア (2015年)

Academic Module	L	R	W	S	OVERALL
女性	6.1	6.1	5.6	5.9	6.0
男性	5.9	6.0	5.4	5.8	5.8

参考: IELTS Official Website <https://ielts.org/>

General Training Module	L	R	W	S	OVERALL
女性	6.0	6.3	6.0	6.3	6.2
男性	6.0	6.4	5.9	6.3	6.2

団体受験のメリット → 公式のIELTSを自校にて実施可能です。

試験の実施は当協会スタッフが行わせていただきますので、すべてお任せください！

- ▶ 団体様が試験日を選べるので、協定校留学の出願時期などを考慮したベストタイミングでの試験日設定が可能！（実施可能日程の中から選択）
- ▶ 公式のIELTSだから、留学やVISA申請にも有効な成績証明書が発行される！
- ▶ IELTS説明会の開催により、受験者にとってIELTSがより身近になります！（原則無料でのスタッフ派遣）
- ▶ 通い慣れた環境で受験できるから、受験者がパフォーマンスを発揮しやすい！

さらに 特別にオファーする団体責任者専用ウェブサイトで申込状況や成績管理が自由自在に！

申込に関する活用例

- 申込や受験履歴の確実な管理
- 受験料を学校負担（全額・半額・一部等）される場合も団体請求が可能

成績に関する活用例

- 協定校留学に向けた出願基準の一括審査
- 留学希望者への個別フォロー
- 平均スコアや技能別弱点の把握で、学校全体の対策が可能（対策講座の設置やスピーキング授業導入のデータとして利用された例あり）
- IELTS学内表彰で学生のモチベーションアップ（優秀者表彰、伸長度による表彰等）

大学担当者の声

青山学院大学

学務部 国際交流課 国際交流センター  
出口 裕子 さん



交換留学出願者の約75%がIELTSで出願。団体責任者専用ウェブページで学生の英語力と可能性を把握でき、報奨制度運営にも活用できる。

国際交流センターではIELTS対策講座や報奨・表彰制度などを実施し、学生のスコアアップを支援しています。2013年から公益財団法人 日本英語検定協会（英検協会）を通してIELTSの学内試験を実施し、年2回の開催で計60名程度が受験しました。その後、正課の中でIELTS受験対策を取り入れた講座を設置したこともあり、学生にIELTSが認知されていきました。さらに、学生間で「他の英語能力検定試験からIELTSに変えたら良いスコアが取れた」「慣れているキャンパスで安心して受験できてスコアが上がった」といった口コミも受験者増加につながっているようです。現在は、1年間で約700名が学内試験を利用し、交換留学出願者のうち約75%もの学生がIELTSのスコアで出願しています。

2015年からは、学内試験または国際交流センターが指定する試験で、IELTSオーバーオール5.5以上のスコアを獲得した学生を対象に報奨金制度を導入しました。学生により高い目標をめざしてほしいと、報奨額はスコアが5.5で5,000円、6.0で10,000円、6.5で15,000円、7.0で20,000円、7.5以上では25,000円と分けています。5.5のスコア

があれば留学はできますが、そこに留まらずに、交換留学出願の平均スコア約6.0をめざし、希望に合致した、自身にメリットの高い海外留学を実現してほしいと考えています。

本学はもともと留学希望者が多く、学生の意識は高いのですが、それは目に見えるものではありません。英検協会のIELTS団体責任者専用ウェブページを利用したことで、学生のポテンシャルが視覚的に見えるようになりました。当センターが主催するどのIELTS講座の受講生かがわかるのはもちろんですが、各学生のスコアが把握できることは、大きな収穫です。さらにIELTSのスコアからは学生の英語4技能それぞれの力が見て取れ、留学先のアドバイスや海外インターンシップ実習先選定の目安にも利用できます。

海外留学は早い段階からの準備が重要です。本学では入学時のオリエンテーション内で留学の種類を説明し、IELTSについても時間を割いて説明しています。IELTSの学内試験利用者を増やし、満足度の高い海外留学の機会を得てもらえるようにサポートしていきます。

団体受験実績校・団体（日本英語検定協会における実施実績）※50音順

<b>国公立大学</b>	大阪大学・岡山大学・お茶の水女子大学・金沢大学・北九州市立大学・九州大学・京都大学・熊本大学・高知大学・神戸市外国語大学・国際教養大学・埼玉大学・首都大学東京・信州大学・千葉大学・都留文科大学・東京外国語大学・東京大学・長崎大学・名古屋大学・一橋大学・広島大学・福岡女子大学・福島大学・北海道教育大学・北海道大学・山形大学・山口大学
<b>私立大学・短期大学</b>	青山学院大学・青山学院女子短期大学・桜美林大学・追手門学院大学・学習院大学・金沢星稜大学・関西大学・関西外国語大学・関西学院大学・神田外語大学・九州産業大学・京都外国語大学・京都産業大学・杏林大学・甲南大学・甲南女子大学・神戸女学院大学・国際基督教大学・順天堂大学・成蹊大学・聖心女子大学・西南学院大学・創価大学・大東文化大学・玉川大学・中央大学・津田塾大学・東京女子大学・東京理科大学・同志社女子大学・同志社大学・東洋大学・獨協大学・日本女子大学・武蔵大学・明治学院大学・明治大学・立教大学・立命館アジア太平洋大学・立命館大学・龍谷大学・早稲田大学
<b>その他学校・団体</b>	都文館グローバル高等学校・おおさかグローバル塾・神田外語学院・関東国際高等学校・京都学園高等学校・国際基督教大学高等学校・大学コンソーシアム京都・桐蔭学園高等学校・東京都教育委員会・日本外国語専門学校・リンデンホールスクール中高等学校

団体受験（学内実施）のスケジュール

受験者が多い団体様には、年間48回の実施可能日程の中からご希望の実施日をお選びいただき、キャンパス・施設内で在学生及び教職員などを対象としたIELTS実施が可能です。実施は原則全て当協会スタッフが行います。

団体受験（学内実施）IELTS実施までの流れ

- 12～3カ月前 試験日決定**  
年間48回（毎月4回、うち土曜3回と木曜1回）ある試験日より、ご都合の良い日をお選びください。学内留学派遣選考締切の1カ月前に試験日を設定する場合があります。2017年度の実施可能日程は下図をご参照ください。
- 会場登録**  
試験で使用する教室の写真撮影及び音声テストを行い、当協会にてプリティッシュ・カウンシルアジア統括本部に試験会場登録を行います。特別会場でのIELTSテスト実施には、別途書面での同意が必要となります。
- IELTS説明会学内（社内）広報**  
団体様より、受験者へIELTS特別会場実施の告知をお願いいたします。必要に応じて、当協会スタッフを派遣しIELTSの説明会を行います。告知用のポスターやチラシなども当協会で作成可能ですので、ご希望の場合はお知らせください。
- 3カ月前～5週間前 申込期間**  
学内実施での受験は原則、受験者本人によるオンラインでのお申し込みになります。IELTSウェブサイトの団体受験専用ページより受験申込をしていただきます。
- IELTS実施**  
試験実施は原則当協会スタッフのみで行いますので、特に団体所属の教職員様にお手伝いいただく必要はございません。試験当日の流れは右表をご参照ください。
- 試験実施13日後の13時から 試験結果確認**  
団体責任者専用ウェブページより、受験者の成績一覧をご確認いただけます。

実施に関する要項

<b>実施日</b>	団体様のご都合に合わせて、実施可能日の中から試験日を決定	
<b>当日の流れ（目安）</b>	7:30～	▶ 実施スタッフ集合
	8:00～	▶ 受験者集合 / IDチェック開始
	8:40～	▶ 荷物室の施錠
	8:55～	▶ 説明開始
	9:00～ 9:40	▶ Listening
	9:50～ 10:50	▶ Reading
	11:00～ 12:00	▶ Writing
	12:10	▶ 一時解散（昼休み）
	13:00～ 18:00	▶ Speaking（11～14分。指定時間に随時集合）
	18:30	▶ 撤収完了
<b>借用希望教室</b>	7:30～ 13:00	筆記試験教室（1教室 ※必要に応じて変更） 荷物室（1教室） スタッフ室（1教室） IDチェック室（1教室）
	13:00～ 18:30	面接室（14名につき1教室） 面接待合室（1教室） スタッフ室（1教室）
<b>最低遂行受験者数</b>	原則20名以上（まずはご相談ください）	
<b>実施責任者</b>	公益財団法人 日本英語検定協会職員 1名（および試験監督者を数名派遣）	
<b>面接委員</b>	受験者14名につき1名派遣	
<b>試験に必要な環境・条件</b>	<b>構内全体</b>	● チャイム、構内放送を停止すること ● 他試験、授業、道路騒音等の影響がないこと ● 車での資材搬入、搬出が可能であること
	<b>筆記試験教室</b>	● フラット教室であること（階段教室は原則不可） ● オーディオ機器、マイクが使用可能であること ● 筆記試験に適した大きさ、間隔（前後1.25m以上）の机があること ● 掛け時計（秒針つき）が設置されていること
	<b>IDチェック室 面接待合室</b>	● 電源（IDチェック時のPC用）が使用できること
	<b>荷物室</b>	● 施錠できること
	<b>面接室</b>	● 可動機であること ● 施錠できること
	<b>スタッフ室</b>	● 施錠できること
	<b>借用希望備品</b>	● 荷物室、面接室の鍵 ● 受付机と椅子 ● オーディオ機器、マイク ● 掛け時計（秒針つき） ● 立て看板、ホワイトボード

2017年度 IELTS 試験実施可能日程

\* のついた日付に限り、ジェネラル・トレーニング・モジュールも実施可能です

<b>4月</b>	8 ± *	20 木	22 ±	29 ± *	<b>8月</b>	3 木 *	12 ±	19 ± *	26 ±	<b>12月</b>	2 ± *	9 ±	14 木	16 ± *
<b>5月</b>	6 ±	13 ± *	20 ±	25 木 *	<b>9月</b>	9 ±	16 ±	21 木	30 ±	<b>'18 1月</b>	6 ± *	13 ±	18 木	20 ± *
<b>6月</b>	3 ± *	8 木	17 ±	24 ± *	<b>10月</b>	5 木	14 ± *	21 ±	28 ± *	<b>'18 2月</b>	1 木 *	3 ±	10 ± *	24 ±
<b>7月</b>	8 ± *	15 ±	20 木	29 ± *	<b>11月</b>	2 木 *	4 ±	11 ± *	25 ±	<b>'18 3月</b>	3 ± *	10 ±	15 木	24 ± *

留学成功の鍵をにぎるIELTSの団体受験は、50年以上の各種試験運営実績のある日本英語検定協会にお任せください。

公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS マーケティング担当

Tel 東京テストセンター 03-3266-8486  
大阪テストセンター 06-7670-8085

E-mail support-kokusai@eiken.or.jp

英国留学を目指す方へ

## IELTS for UKVI

IELTS for UKVI (IELTS for UK Visas and Immigration) は2015年4月に導入された英国留学や移住申請等でビザ申請を行う方を対象とした試験で、英国外で受験できる唯一のSELT (Secure English Language Test) として英国政府の規定のもと厳格に試験が運営されています。

英国の教育機関や移民局からIELTS for UKVIが指定された場合に限り受験が必要です。通常のIELTSで問題ない場合は、IELTS for UKVIを受験する必要はありません。



テスト名	IELTS	IELTS for UKVI (IELTS for UK Visas and Immigration)
対象	教育機関や移民局からUKVIの受験が指定されない場合	教育機関や移民局からUKVIの受験が指定される場合
	※ 提出先がどちらを求めているか、ご自身で必ずご確認ください	
試験内容	テスト内容・形式・難易度・採点基準などは同じ	
会場	全国14都市	全国2都市 (東京・大阪)
受験料	Academic/General Training: 25,380円 (税込)	Academic/General Training: 39,095円 (税込) Life Skills A1/B1: 29,320円 (税込)
セキュリティ	パスポートでの本人確認、写真撮影、指紋採取	パスポートでの本人確認、写真撮影、指紋採取、試験会場のビデオ録画
試験実施 (お問い合わせ先)	日本英語検定協会 support-kokusai@eiken.or.jp 03-3266-8486	ブリティッシュ・カウンシル ielts.ukvi@britishcouncil.or.jp

### IELTS for UKVIに関するウェブサイト

URL | <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration>

### 一般的な区分のイメージ (実際には提出先へ必ずご確認ください)

殆どのケースで通常のIELTSでOK

**IELTS for UKVIが必要なケース**

英国の教育機関や移民局からIELTS for UKVIが指定された場合に限り受験が必要です。プログラムが学士レベル未満の場合は、IELTS for UKVIを求められることがあります。

例

- 条件付入学のPre-sessionalコース
- Foundationコース など

あくまでも一般的なケースであり、これに当てはまらないことや同じ大学内でもプログラムごとに要件が異なる場合もあるため、必ずご自身の事前確認をお願いいたします。

IELTS対策 1

## IELTS受験のアドバイス・ヒント (ブリティッシュ・カウンシル提供)

IELTSを当協会と共同運営するブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS受験準備として様々なコンテンツを提供しています。

初受験の方  
におすすめ

試験当日の  
アドバイス

受験する皆様  
におすすめ

ビデオ:  
IELTS受験の  
ヒント

試験会場での受付方法や持参物、試験形式や時間など、試験当日の流れが収められています。特に初めてIELTS受験をされる方には是非見ていただきたいコンテンツです。

リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングのテーマごとに、IELTS受験のヒントをご紹介します。受験対策として受験者の皆様におすすめください。

URL | <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/resources>

IELTS対策 2

## 無料オンライン教材のご案内 (ブリティッシュ・カウンシル提供)

1

人気教材  
受験前の  
トレーニングに

Road to IELTS

10時間分の無料オンライントレーニング

IELTS申込済の方は30時間分

ROAD TO IELTS

IELTS preparation and practice

リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの試験対策のための自主学習用オンライン情報源として、多くのIELTS受験者が利用しています。

URL | <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/resources/free-practice>

- 練習問題
- サンプル問題
- 試験アドバイス

2

LearnEnglish

無料英語学習サイト

LearnEnglish

無料英語学習サイト

Podcastなどのリスニング教材をはじめ、IELTS試験対策や携帯電話用のアプリケーションなどさまざまな英語学習教材が無料で提供されています。IELTS試験対策の一環として効果的で、自信を持って試験に臨めるようになります。

URL | <http://learnenglish.britishcouncil.org/en/>

- ビデオ教材
- Podcast
- 文法・ボキャブラリーのチュートリアル
- ビジネス関連の英語教材や記事
- ゲーム
- IELTS試験アドバイス
- オンラインコミュニティ

IELTS対策 3

## 京都大学と共同開発 “アカデミックライティング力”向上のためのe-Learning講座

### Study-Abroad & Preparation for Academic Writing

当協会が京都大学と共同で開発したこちらの講座は、「留学先で通用するライティング力を身につけたいが、効率的な学習方法がわからない」、「プロの添削者に自分のエッセイを見て欲しい」という学習者のニーズに応えます。全11のユニットを約3ヶ月で修了し、アカデミックライティングの基礎力から応用能力を習得するプログラムとなっています。

**講座概要** アカデミックライティングを効率的に学習

右記の学習期間・時間を目安に、  
お好きな時間に自分のペースで学べます

学習時間

1Unitにつき1時間 (目安) ※添削課題は含まない

学習構成

全11Unit ※Unit1以外はネイティブ添削者によるフィードバック有り

個人申込受講料 **26,000円(税込)** ※個人でのお申し込みの場合は全ユニットでの受講になります。  
※団体受験をご希望の教育機関様の場合は、受験料と受講ユニットに関しまして、IELTSマーケティング担当までご相談ください。

URL | [http://www.eiken.or.jp/learning/personal/topics/ryugaku\\_writing/](http://www.eiken.or.jp/learning/personal/topics/ryugaku_writing/)

# 北海道大学

(左から)

大学院メディア・コミュニケーション研究院

西川 克之 教授

国際連携機構 国際教育研究センター シニアアドバイザー

帰山 雅秀 特任教授

国際部国際交流課

石黒 公美 専門員

学務部学務企画課 新渡戸カレッジオフィス

上田 しのぶ 特定専門職員



## 国際化社会を牽引する新渡戸カレッジ ヨーロッパ・アメリカの両方をカバーするIELTSが 学生の可能性を大きく広げる

### ▶ 国際社会で活動するリーダーを育てるため 特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」を創設

北海道大学では、将来「国際社会で活動するリーダー」を育てるために、2013年より「新渡戸カレッジ」を開校しました。このプログラムは、学部横断型の特別教育プログラムで、新入生の中から200名、2年進級生の中から50名を選抜します。一定レベルの英語能力を有していることを条件としており、誰でも受け入れる体制ではありません。その理由の一つは、新渡戸カレッジの修了要件に「1セメスター以上の海外留学または複数の短期留学」「高い水準の英語能力修得」があるからです。それらをクリアするには、カレッジ入学時から英語力を磨いても間に合わないため、最初から中長期の海外留学を狙える学生に入校を許可しています。

### ▶ 新渡戸カレッジの存在に、一般学生や 教員も良い刺激を受け、学内が国際化される

これまでの4年間で、新渡戸カレッジの認知度はかなり高まったと思っています。なぜなら、海外留学への意識が非常に高い高校生が「新渡戸カレッジへ入学するため」に北大を受験するようになったからです。学習意欲がたいへん高く、国際社会のリーダーとして活動したいと望む高校生が北大を、新渡戸カレッジを目指しています。また、一般学生も普通の授業で新渡戸カレッジ生と触れ合い、その語学スキルの高さや積極的な姿勢に感化さ

れ、「英語力を高めたい」「海外留学に挑戦したい」という意識が高まっています。さらに、あらゆる学究の場面で新渡戸カレッジの評判が高まるほど、教員たちも国際化への意識をあらためており、以前よりも学内にグローバルな視点が広がっていると実感しています。

### ▶ IELTSは「学生の可能性を広げる試験」 スコアを高める講座などで学生をサポート

現在、本学の交換留学生の留学先はヨーロッパが6割以上を占め、3割がアメリカ、わずかにアジアという構図です。初めは何となく「アメリカ」と思っていた学生も、留学相談などで「ヨーロッパには多くの選択肢がある。それなら行ってみたい」と感じるようになることも多いようです。アメリカに加えヨーロッパ留学を視野に入れると、やはりIELTSのスコアは両エリアをカバーする利便性の高いテストだと思います。「IELTSは日本人が力を発揮しやすい」というイメージが広まったことも事実です。筆記試験はペーパーテストで、日本人にとってはストレスなく受験することができて高いスコアに結びついているようです。新渡戸カレッジでも2015年からIELTSの講座を1、2学期で2コマずつ開講し、さらに夏休みと春休み中にIELTS対策講座を実施するなど、学生のスコアアップをサポートしています。このような取り組みによって、IELTSに挑戦する学生が確実に増えています。

これからも留学説明会や留学相談ではIELTSの魅力を伝え、海外留学の選択肢を広げてあげたいと思っています。



## 北海道大学

高等教育機関・札幌農学校として1876年に創設。初代教頭・クラーク博士の「Boys, be ambitious!」という言葉は有名で、北大のモットーでもある。札幌農学校の講義は全て英語だった、という歴史を有する北大では、外国語教育センターを設置し、新渡戸カレッジを創設するなど留学への挑戦を促している。学内には約1,800名の留学生が学び、異文化交流も盛ん。北大の目標の一つ「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」を目指し、国際性と人間性を高める環境づくりを続けている。

北海道大学 札幌キャンパス

住所：〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目

IELTSウェブサイトでもインタビューを掲載中   <http://www.eiken.or.jp/ielts/group/report/>

# 中央大学

国際センター 副所長

スティーブン ヘッセ 法学部 教授



## 身につけてほしいのは グローバル社会を生き抜く幅広い視野、 “World View”

### ▶ 入学から留学まで、IELTSが「選択肢」を広げる

中央大学は、2012年度にグローバル人材育成推進事業に採択され、1カ月の短期留学から、海外の協定校での長期交換留学、海外でのフィールドワーク、インターンシップまで、多彩な海外派遣プログラムを展開しています。2010年時点で約100校であった海外協定校は、現在は約180校に増加。そのおよそ4分の1は、ドイツやフランス、イタリア、韓国など、「英語圏」ではありませんが、世界中から集結する留学生同士の会話は英語を中心に行われるため、海外留学を経験したほぼすべての学生が、世界共通言語としての英語の重要性を実感して帰国しています。

近年顕著なのは、留学の要件としてIELTSスコアを設定する協定校の増加です。特にアメリカとイギリスを中心に増加傾向にあります。面接官との対面方式で回答するIELTSのスピーキングテストは、日本人が取り組みやすい方式だと感じています。他の検定試験のスコアで伸び悩んだ学生が、IELTSとは相性がよく、留学に必要な基準をクリアできるケースもあり、学生にとって留学先の選択肢が増えているのです。

「選択肢」という点では、今年度より導入されたIELTSなどの英語外部検定試験のスコアを活用する新しい入学試験制度で600名をこえる志願者があり、注目を集めています。入学後の英語学習においても、IELTSは政治・経済などの時事的なトピックや、人権問題などの普遍的なトピックと絡めた英語学習が可能であり大きな魅力です。2015年度からは、留学対策講座として「IELTS対策講座」がスタートし、これまでに200名以上の学生が受講しています。教材は、ブリティッシュ・カウンシル等が監修したものを使用し、

数カ月でスコアが5.5から7.0まで上昇した例もあるほどです。

### ▶ 異文化環境へ果敢に飛び込み 多様な価値観に触れてほしい

中央大学では、学部ごとにグローバル人材育成に向けた独自の取り組みを進めています。IELTSに関しては、国際センターが一元的に情報の周知に努めています。1年次に実施する留学ガイダンスを出発点として、まずは目的意識を持たせることに重きを置きながら、2017年11月にはIELTSの団体受験も開始する予定です。

また、本学の中長期事業計画「Chuo Vision 2025」では、年間2,200名の学生を海外に派遣するという目標を掲げています。日本は島国だからこそ、国内の政治・経済などに影響を与えている外国を自分の目で見ると同時に、外から客観的に日本を見ることが大切だからです。若いうちにこそ海外で多様な価値観に触れ、幅広い視野、グローバル社会に欠かせない“World View”を身につけた上で、さらなる成長のためのロードマップを描いてほしいのです。

本学には、たとえば弁護士として国内で活躍したいと考える学生が多く在籍しています。そんな学生にも、私は迷うことなく海外留学をすすめています。留学は司法試験対策には関係なくても、異文化社会で自分の考えや夢を語る経験自体が、自己の再発見とともに自信につながり、次へのモチベーションにつながります。

海外経験の意義は、決して日本人だけに当てはまるわけではありません。多様な文化的背景を持つ人々が交流し協力するグローバル社会においては、誰もが広い視野の“World View”を身につけるべきであり、そのためのひとつの手段である留学に向けて、IELTSを存分に活用すべきだと考えています。

## 中央大学

1885年に18人の法律家たちによって「英吉利法律学校」として創設され、現在は6学部・大学院8研究科・専門職大学院3研究科を擁する総合大学。2015年に策定された中長期事業計画に基づき、世界に存在感のあるChuo Universityとなるべく、「グローバル・プロフェッショナル」の育成をはじめとするグローバル戦略を展開。年間2,200名の海外派遣、同1,000名の外国人留学生受け入れ、外国人教員比率の10%への引き上げなどを進めている。

中央大学 多摩キャンパス

住所：〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

中央大学 後楽園キャンパス

住所：〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27



# 山口大学

国際総合科学部  
レール マルク 教授

国際総合科学部  
藤原 まみ 准教授

## IELTSは課題解決に役立つ 汎用的な“スタディスキル”も 高めてくれる

### ▶ 学生同士の活発な情報交換が IELTSに対する意識高揚を支えている

2015年度に新設した国際総合科学部は、1年生の夏の1カ月間のフィリピン短期語学研修と、2年生秋からの1年間の海外留学を、原則として全学生参加のプログラムとしています。入学からの限られた期間で英語力を留学レベルまで高めることが求められ、その手段としてのIELTSの有効性は、教職員間の共通認識となっています。

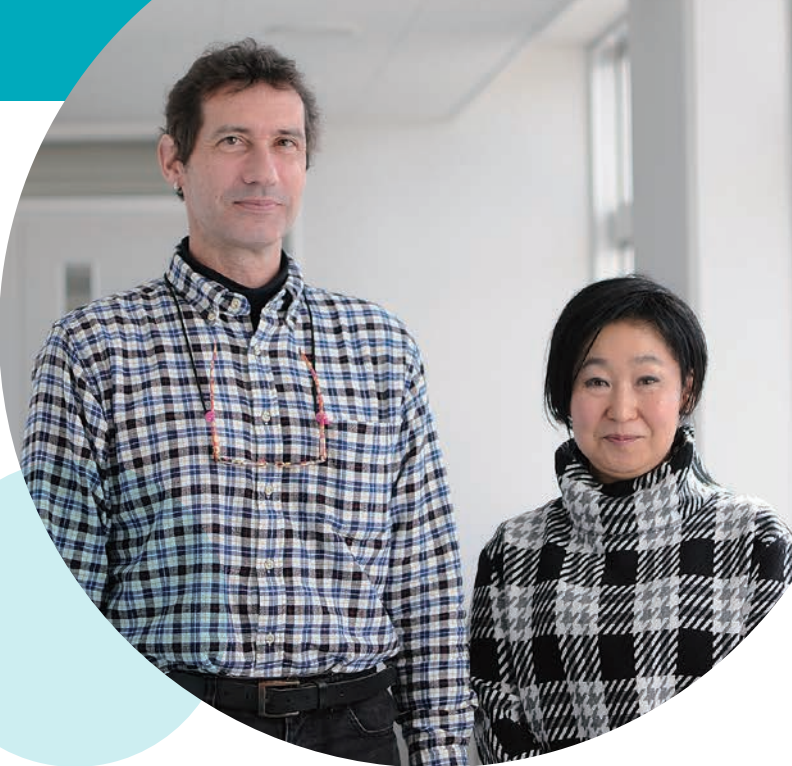
学部では、「IELTS STUDY (I・II・III)」を1年次の選択科目として開講するなど、万全な試験対策を実施しています。さらに、日頃通い慣れたキャンパス内で、余裕をもってIELTS受験に臨めるように、学部が開設された2015年度から団体受験を導入し、学生の精神的・経済的負担の軽減を図っています。

また、学生自身も英語圏のみならず、台湾、インドネシア、フランス、リトアニアなど、20か国以上の国・地域にある希望留学先大学が受入条件としているIELTSスコアを目標に、英語学習に励んでおり、IELTS対策への意識の高まりを感じます。背景にあるのは、学生間の活発な情報交換です。それによってIELTSの重要性が理解され、学生からのボトムアップによって、IELTSを中心とする教育環境が整備されてきている側面もあります。

団体受験の受験者数は20名(2015年度)から70名(2016年度)へと大幅に増加し(1学年の定員100名)、2016年度の団体受験結果では、受験者の3分の1以上が英検準1級レベルのIELTS5.5以上を獲得しました。

### ▶ 生活シーンからアカデミックシーンまで 網羅的な英語学習が可能

英語力向上と留学準備を短期間で進めるにあたり、IELTSの特徴を最大限に活用し、留学先、3・4年時以降の専門的な勉強、そして、将来のキャリアにおいても役に立つ、論理的な思考力を涵養することを



目指しています。IELTSで習得する「使える英語」力とは、正しい発音で流暢に話す力だけでなく、情報を迅速且つ正確に把握したうえで、自身の意見をまとめ、それを論理的に伝える力ではないでしょうか。たとえば、IELTSのリーディングやリスニングでは、正確で素早い情報把握力を鍛え、リスニングのセクション4では、英語の講義を聞いてノートにまとめる能力を養成し、ライティングやスピーキングのパート3では、収集した情報を元に自身の意見を表現する力を磨くことができます。IELTS対策を通じて習得し得るこれらの能力は、他の言語の習得や専門的な学問に臨む際にももちろん、将来のキャリアにおいても応用がきく能力だと思います。IELTSのスコアアップに向けた勉強が、留学先での様々な生活の場面からアカデミックな分野にまで活かされ、それが将来を見据えたキャリア形成にもつながっていくのです。

### ▶ 国境を越えたソリューションをデザインする

国際総合科学部の特徴は、「デザイン」を通じた文理融合型の課題解決型学部であるということ。ここでいう「デザイン」とは、モノの造形や色といった可視的なものだけではなく、価値や考え方など、さまざまな“NEW”を創造・デザインするプロセスを課題解決に活かそうとする視点です。環境問題をはじめとして、多くの課題がボーダーレスかつグローバルに地球上に横たわっている以上、文系や理系、国や民族といった垣根は取り払うべきであり、コミュニケーションツールとしての英語が必須になります。私たちのミッションは、広く世界を見渡し、課題解決に力を発揮することのできるエキスパートをアサインするなど、必要な策を講じていくための「コーディネーター」の育成です。学際的・横断的に課題解決に立ち向かうという「デザイン」の特徴は、汎用的なスタディ・スキルの習得、つまり、ある習得した能力を多様な生や学びに活かし、つなげることができる能力の育成、という意図の元に実施しているIELTSを用いた英語学習と通底する部分があり、IELTSへの取り組みによる効果に大きな期待を持っています。



## 山口大学

1815年に長州藩士「上田鳳陽」が創設した私塾「山口講堂」を起源とし、1949年に山口大学として創設。9学部・8研究科で構成され、2015年には創設200周年を迎えた。山口大学国際化推進宣言として「維新の山口から世界の山口へ」をキャッチフレーズとして掲げ、2016年5月1日時点でアジアから欧米まで、22カ国・地域83大学・機関と学術交流協定を締結しているほか、学部レベルでも23カ国・地域49大学・機関の学術交流協定を締結している。

山口大学 吉田キャンパス  
住所 〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

# 熊本大学

副学長(国際交流担当)  
グローバル教育カレッジ長  
高島 和希 教授

## 旧制五高“剛毅木訥”の 精神を受け継ぐ人材を 世界に送り込みたい

### ▶ 教育内容の充実と環境整備によって 「世界から熊本へ。KUMAMOTOから世界へ」

熊本大学では、「熊本から世界に輝く研究拠点大学」として、国際化戦略を進めるなかで、まずは文部科学省の「大学院教育改革支援プログラム」で大学院の段階的な全面英語化に着手。今や、外国人留学生は約1,000名に増加し、世界に開かれた大学になりつつあります。今後、熊本大学で学ぶ外国人留学生が、母国と同じように専門的な勉強に取り組める環境にすることを意識し、英語科目の増設をはじめとする環境整備を進めていきます。

また、「スーパーグローバル大学創成支援事業」を通じて、グローバルマインドセットを持った人材育成も進行中であり、本学の国際交流拠点であるグローバル教育カレッジがその拠点となっています。ここでは、外国人留学生と日本人学生が日々交流するほか、地域の高校生と外国人留学生との交流イベントなども開催。身近な存在である在校生の留学経験者の声を聞いてグローバル意識を高めている学生も少なくありません。

さらに、2017年度からは文学部、法学部、理学部、工学部の4学部合計で50人を定員とするグローバルリーダーコースを新設。英語での面接を含むAO型の入試を経て入学した学生は、1・2年次には英語を用いた文理融合型のグローバル教養科目で基礎力を高めます。その後、3年次からは高度な専門領域に移行。今後は、各学部のコース定員増加とともに、他学部への拡充をめざします。

## 熊本大学

1949年に発足し、7学部・大学院7研究科を擁する総合大学。「強い精神力を持ち、何事にも屈しないこと」を意味する「剛毅木訥」の精神は、前身である旧制第五高等学校時代から脈々と受け継がれている。2014年に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、「地域と世界をつなぐグローバル大学Kumamoto」をテーマに、地域のグローバル化を牽引するとともに、世界レベルの研究拠点大学としての地位確立をめざしている。

熊本大学 黒髪キャンパス  
住所 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1



一方で、グローバルリーダーコース以外の学生の英語力向上も不可欠です。そこで、英語でのフリートークを行う「イングリッシュトークモン」という課外活動や各種ワークショップを行っています。また、「IELTS対策講座」を拡充し、2015年度に38名だった受講者数は、2016年度には85名に増加しています。

さらに、世界中の留学生が学ぶ“グローバルキャンパス”である以上、教職員の英語力向上も重視し、現在、職員全体の約1割がIELTS6.0以上に達しています。

### ▶ 地域に根ざした “グローバル”な取り組みにも注力

熊本大学の取り組みとして特筆すべきは、地域のグローバル化を牽引しようとする意識の強さです。文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」のほか、トビタテ!留学JAPANの「地域人材コース」にも採択されており、地域に根ざしたグローバルな施策を進めています。具体的には、外国人留学生が地域住民と交流できる機会の創出を行うとともに、県内のグローバル企業に確かな専門性を持った学生が入社するケースもあります。

地域が抱える課題をグローバルな視点で解決に導くための海外インターンシップにチャレンジする機会も用意されており、それらの活動を支えるのが英語力であることは言うまでもありません。多くの学生がチャレンジするIELTSの団体受験を継続的にしながら、国際化戦略を進めていきます。





## お問い合わせ先

公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS マーケティング担当

E-mail : support-kokusai@eiken.or.jp

Tel : 東京テストセンター 03-3266-8486

大阪テストセンター 06-7670-8085

<http://www.eiken.or.jp/ielts>



**英検**

公益財団法人

日本英語検定協会